

承認番号：549

倉敷市内から救急車で運ばれた脳卒中患者様へ

「倉敷ストロークチャート」運用に関するデータ使用のお願い

平成 21 年 12 月 1 日
川崎医科大学附属病院
脳卒中科 渡邊 雅男

当院は、急性期脳卒中患者様をより早く、適切な治療が受けられるように倉敷市消防局と連携した取り組みを行っております。具体的には、救急隊が脳卒中の疑いがあると判断した場合は、専門的治療が可能な医療機関への搬送を行います。搬送するにあたって、脳梗塞か脳出血、あるいはクモ膜下出血のいずれかであるかを救急隊に予測してもらいます。更に医療機関での診療結果を救急隊に提供し、救急隊の判断が適切であったかどうかを省みることで、救急隊の判断能力の向上を計り、更なる救急体制の向上を目指すことがこの研究の目的です。

救急隊が病状を判断しやすくするために、観察項目表を作成しております。観察項目表によって受け渡される診療情報については、当院の個人情報保護規定に従って厳密に管理し、診療に関与していない第三者が閲覧することはありません。さらに、このような仕組みを構築することで、急性期脳卒中患者様に対してより良い医療が提供できることを科学的に証明するために、データを集計し、その一部を公表する可能性があります。つきましては、診療で得られたデータを研究に使用する事にご理解とご協力を賜りたく存じます。皆様方の個人名や個人を特定できるようなデータが公表されることは一切ありません。

この研究に対して、ご質問があるかたは、下記担当者までご連絡ください。なお本研究は国から交付された研究費を使って行われますが、本研究の主任研究者（島根大学内科 小林祥泰、および国立循環器病センター脳血管内科 峰松一夫）および研究協力者の利害関係については、川崎医科大学利益相反委員会へ申告して審理を受けており、本研究の利害関係について公平性を保つように管理されています。

この研究に対して、ご質問があるかたは、下記担当者までご連絡ください。

担当 渡邊 雅男（川崎医科大学 脳卒中医学 講師）
電話番号 086-462-1111（代）
FAX 086-462-1199